

港湾事業特別会計

留萌市地域振興部経済港湾課港湾振興係
TEL 0164-42-1840

総括

留萌港は、旭川市を中心とした上川・留萌・空知地域の産業・生活を支える物流拠点として重要港湾に指定されています。
留萌港では、一度に大量の貨物を輸送することができる大量低コスト輸送に対応すべく、三泊地区に-12m岸壁を整備しており、現在では3万トン級の大型船舶が入港しています。また、大規模地震に備えて耐震強化岸壁として整備していることから、震災時における救援物資の受入れが可能であり、防災拠点としても大きな役割を担っています。
留萌港における主な取扱輸入貨物は、石炭、石油製品、アスファルトなどで、令和2年の取扱輸入貨物量は318,300tとなり、令和元年と比較して52,532t(△14.2%)減少いたしました。その要因は、製紙工場が閉鎖に向けて石炭の取扱量を制限したことによります。また、取扱輸出貨物は令和元年まで全て原木でありましたが、令和2年は諸外国における道産材需要低下のため、輸出貨物は取扱がありませんでした。
令和2年度の港湾事業特別会計の決算状況は、歳入歳出ともに181,584,202円となりましたが、実質的には一般会計からの補てんで収支均衡を図っております。

収入

■前年との比較

①港湾使用料

港湾施設用地使用料の増加に伴う増

②繰入金

収支不足のため一般会計より補てんしているもので、前年度より支出が増加したことによる増

③市債

市債は、資本費平準化債となっています。

(単位:千円、%)

予算科目	令和2年度			令和元年度		令和元年度決算との比較	
	予算額	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	C (A-B)	C/B
①港湾使用料	53,809	58,620	32.3	56,444	32.2	2,176	3.9
②繰入金	89,686	82,862	45.6	71,698	41.0	11,164	15.6
③市債	38,900	38,900	21.4	46,900	26.8	△ 8,000	△ 17.1
④諸収入	1,202	1,202	0.7	0	0.0	1,202	皆増
合計	183,597	181,584	100.0	175,042	100.0	6,542	3.7

支出

■前年との比較

①港湾施設費

引船(隆萌)整備費の増加に伴う増

②公債費

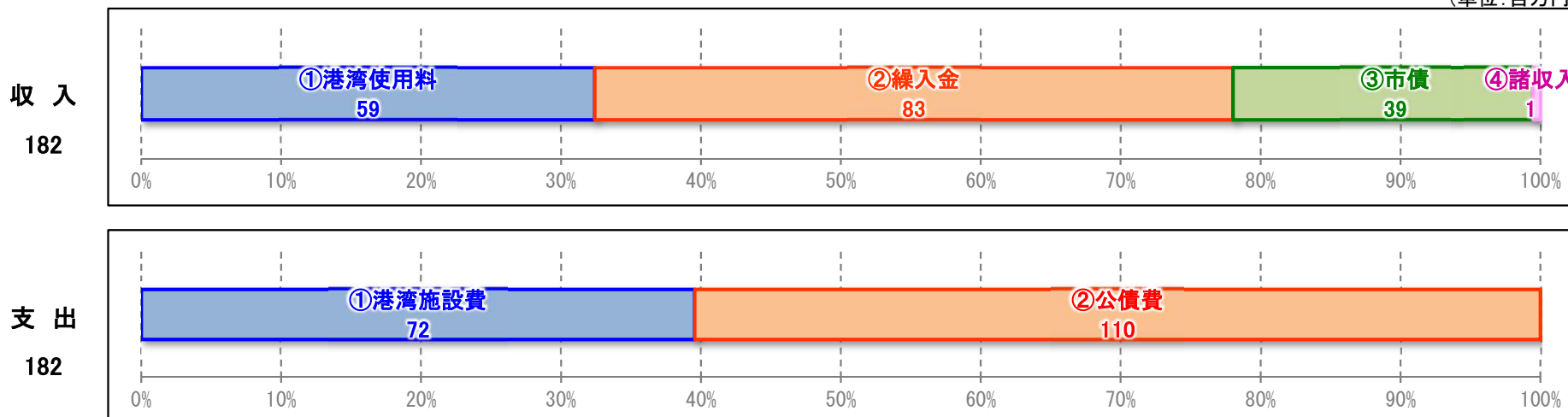
市債の償還完了や利率見直しによる金利の低減による減

(単位:千円、%)

予算科目	令和2年度			令和元年度		令和元年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
①港湾施設費	73,817	72,177	39.7	51,393	29.4	20,784	40.4
②公債費	109,458	109,407	60.3	123,649	70.6	△ 14,242	△ 11.5
③予備費	322	0	0.0	0	0.0	0	—
合計	183,597	181,584	100.0	175,042	100.0	6,542	3.7

収支の状況（令和2年度決算）

（単位：百万円）



令和3年度執行状況（9月30日現在）

収入

■収入の状況

- ①港湾使用料 港湾施設（土地）の使用料、船舶給水使用料、引船使用料などで、収入率は約82%となっています。
- ②繰入金 市から港湾事業への繰出し（負担）で、年度末の収入となります。
- ③市債 資本費の平準化のために発行しており、年度末の収入となります。

（単位：千円、%）

予算科目	令和3年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
①港湾使用料	56,092	46,061	82.1
②繰入金	70,433	0	0.0
③市債	18,000	0	0.0
合計	144,525	46,061	31.9

支出

■支出の状況

- ①港湾施設費 人件費や委託料、燃料費、光熱水費の支払いなどに執行されています。
- ②公債費 市債（借金）の返済は、9月及び3月払いのため予定通りの執行となっています。

（単位：千円、%）

予算科目	令和3年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
①港湾施設費	55,605	16,253	29.2
②公債費	86,920	43,293	49.8
③予備費	2,000	0	0.0
合計	144,525	59,546	41.2

※9月末時点で収入済額に対して支出済額が上回っていますが、繰入金の収入が年度末となるためであり、不足分については会計間の一時借入によって補っています。